

子ども・保護者・地域 学校・教育委員会をむすぶ 新たなコミュニケーション



令和6年7月桑名市総合教育会議

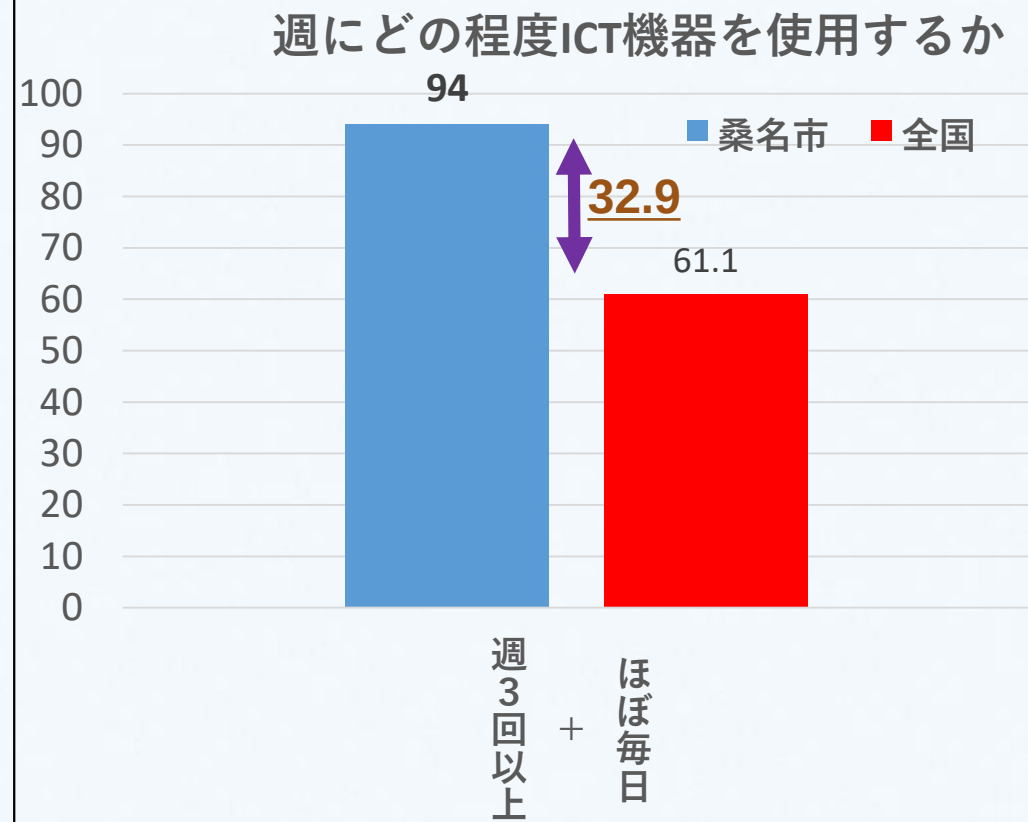
桑名市教育委員会学校支援課 教育指導係

桑名市⇔全国 1人1台端末活用状況比較

小学校



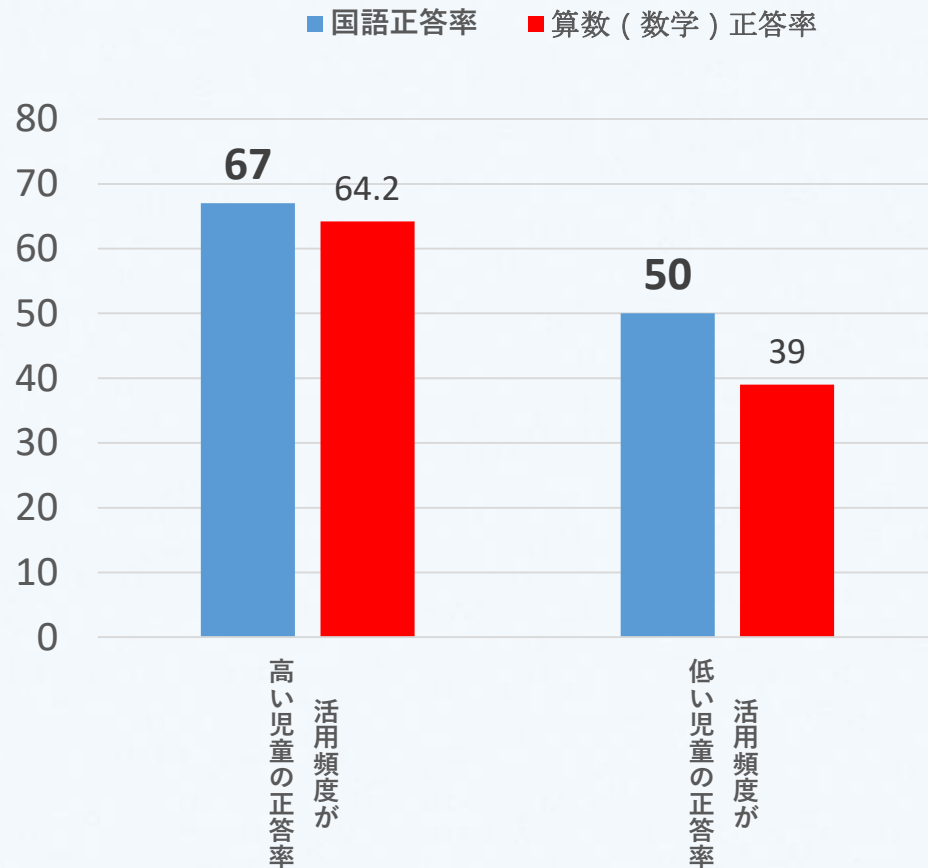
中学校



ICT活用と学力について

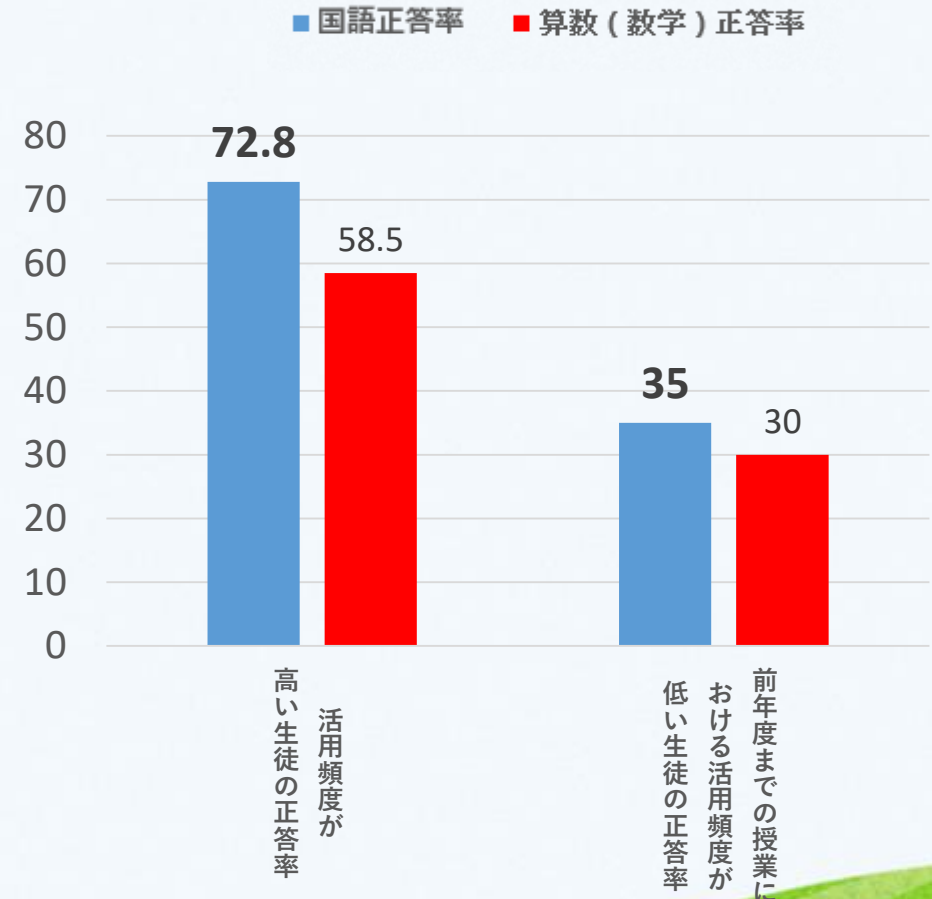
小学校

1人1台端末活用頻度と正答率の相関関係



中学校

1人1台端末活用頻度と正答率の相関関係



インプット（ハード面）

インプット（ソフト面）

1

1人1台端末

- 指導者用端末が不十分
- 故障頻度の増加に伴い端末活用に切れ目

2

ネットワークの改善

- 速度不十分
- アセスメント不足
- セキュリティポリシーの未整備

3

GIGA×校務DX

- クラウド・AI活用が未浸透
- 紙や転記作業がまだ残る
- 非クラウド型の校務支援システムが時代遅れに
- アプリと校務システムの未連携

4

端末の積極的活用

- 端末活用率に格差
- 教師の指導力にも差
- デジタル教科書の活用

円滑な活用の前提条件の整備

苦手意識の軽減
余剰時間の創出K
P
I

- ✓ 指導者用端末整備済み自治体
64.6%(R4)→100%(R6)
- ✓ 常時端末活用ができるよう十分な予備機を整備している自治体
●→80%(R7)→100%(R10)

K
P
I

- ✓ 無線LAN又は移動通信システム（LTE等）によりインターネット接続を行う普通教室の割合
97.8%(R4)→100%(R6)
- ✓ 端末利用に係る回線の速度を計測・把握した学校
●→100%(R6)
- ✓ 課題のある学校についてアセスメント実施済みの自治体
●→100%(R7)
- ✓ 必要なネットワーク速度確保済みの学校
35.7%※→100%(R7)
（※）サンプル調査
- ✓ クラウド対応の教育情報セキュリティポリシー策定済み自治体
49.1%(R5)→100%(R7)

K
P
I

- ✓ クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校※
5.5%(R5)→100%(R8)*
（※）児童生徒・保護者との欠席・遅刻・早退連絡や各種連絡・調査・アンケート、校内での情報共有や資料共有、調査・アンケートについてクラウドサービスを積極的に取り入れている学校
- ✓ FAXでのやり取り・押印を原則廃止した学校
1.1%(R5)→100%(R7)*
- ✓ 校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃した学校
●→100%(R7)*
- ✓ 生成AIを校務で活用する学校
1.2%(R5)→50%(R7)
- ✓ 次世代の校務システムの導入に向けた検討を行う自治体
63.4%(R5)→100%(R8)*

K
P
I

- ✓ 当該年度にICT研修を受講する教員の割合
73.0%(R4)→100%(R6)
- ✓ 教師のICT活用指導力の向上
①授業にICTを活用して指導する能力
78.1%(R4)→100%(R7)
②児童生徒のICT活用を指導する能力
79.6%(R4)→100%(R7)
- ✓ 情報通信技術支援員（ICT支援員）の配置
5.7校/人(R3)→4校/人(R7)
- ✓ 端末を週3回以上活用する学校
小：90.6%(R5)→100%(R6)
中：86.5%(R5)→100%(R6)
- ✓ デジタル教科書を実践的に活用している学校の割合
40.5%(R4)→80%(R8)→100%(R10)

4 ページ参照

アウトカム

①個別最適・協働的な学びの充実 ②情報活用能力の向上 ③学びの保障 ④働き方改革への寄与

K
P
I

- ✓ 以下の場面で児童生徒が端末を週3回以上活用する学校
①調べる場面
小：70.1%(R5)→100%(R8)
中：64.9%(R5)→100%(R8)
- ②発表・表現する場面
小：46.0%(R5)→80%(R8)
中：44.4%(R5)→80%(R8)
- ③教職員とやりとりする場面
小：53.3%(R5)→80%(R8)
中：49.4%(R5)→80%(R8)
- ④児童生徒同士でやりとりする場面
小：40.2%(R5)→80%(R8)
中：34.1%(R5)→80%(R8)
- ⑤理解度等に合わせて課題に取り組む場面
小：44.9%(R5)→80%(R8)
中：36.1%(R5)→80%(R8)

K
P
I

- ✓ 情報活用能力の底上げ
①小：レベル3、中：レベル5以下の減少※
小：49.9%(R4)→20%以下(R8)
中：57.1%(R4)→20%以下(R8)
- ✓ ②キーボードによる日本語入力スキルの向上（文字/分）
小：15.8字(R4)→40字(R8)
中：23.0字(R4)→60字(R8)
（※）情報活用能力を9段階（レベル9が最高）に分けて調査している（主な観点として、①基本的な端末操作等、②問題解決・探究における情報活用、③プログラミング、④情報モラル・セキュリティが含まれている。）。

K
P
I

- ✓ 希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の割合
●→100%(R8)
- ✓ 希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の割合
●→100%(R8)
- ✓ 外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の割合
●→100%(R8)
- ✓ 障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の割合
●→100%(R8)

K
P
I

- ✓ 次世代の校務システムを導入済みの自治体の割合
●→100%(R11)*
 - ✓ 教職員の働き方改革にも資するローテーションフリーでの校務処理を行っている自治体の割合
●→100%(R11)
- （参考）2024年中に設定予定である学校における働き方改革の推進に係る指標（例：時間外在校等時間月45時間（国の上限指針）以下の割合等）

●：現時点において未調査の数値

★：ダッシュボードにより進捗を管理す

教育DXに係る当面のKPIより

クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校※

5.5%(R5)→100%(R8)★

(※) 児童生徒・保護者との欠席・遅刻・早退連絡や各種連絡・調査・アンケート、校内での情報共有や資料共有、調査・アンケートについてクラウドサービスを積極的に取り入れている学校

保護者と学校との連絡ツール①

各家庭からの欠席連絡に使用しているツール

市内36校（小27校 中9校）

ツール	校数	割合
電話・連絡帳	12校	33.3%
デジタルツール	24校	66.6%

ツール内訳

完全デジタル化7校

ツール	校数	割合
Googleフォーム	9	25.0%
tetoru	7	19.4%
マチコミ	6	16.6%
LINE	1	2.7%
ロイロノート	1	2.7%

令和6年度桑名市校内ICT環境活用状況調査結果より

保護者と学校との連絡ツール②

市内36校（小27校 中9校）

各家庭への緊急連絡、メール配信に
使用しているツール

ツール	校数	割合
マチコミ	28	77.8%
tetoru	6	16.6%
LINE	1	2.8%
キズナネット	1	2.8%

全校（36校）で使用

各家庭へのアンケート、
調査等に使用しているツール

ツール	校数	割合
Googleフォーム	33	91.6%
紙 (デジタル併用)	26	72.2%
紙のみ	1	2.8%
LINE	1	2.8%
マチコミ	1	2.8%

35校で使用

令和6年度桑名市校内ICT環境活用状況調査結果より

ツールが統一されていないことでおこる課題

例①学校内でいくつもの ツールを使っている場合

欠席連絡	緊急連絡	アンケート 調査
tetoru	マチコミ	Google

【保護者】

- ・用途ごとにツールを使い分ける必要がある。
- ・懇談会等学校からのお知らせを見落としてしまう。
- ・他のメールと紛れてしまう。

例②学校ごとに緊急連絡に 別のツールを使っている場合

小学校4年・弟	中学校1年・姉
マチコミ	tetoru

【教職員】

- ・勤務校ごとに情報提供や周知のルールがちがう。
- ・勤務校ごとにツールが違うため、何度もツールの使い方を覚え直す必要がある。
- ・自動転記など校務DXが進んでない。



ツールの統一が必要

①スピーディな連絡

- 教育委員会から 不審者情報
- 学校から 天候等による行事開催予定の変更などの緊急連絡の、迅速な連絡が可能。

⇒「熱中症特別警戒アラート」による臨時休校等、スピーディな連絡が可能

②市役所からの周知

- 桑名市の新しい制度（留学支援奨学金等）
- 各種奨学金
- 市役所各課からのお知らせ（中学生議会、投票率向上委員会、各種イベント呼びかけ）など。

⇒児童生徒・保護者・地域の方に、必要な情報を提供できる環境を構築可能

③保護者の生活リズムの維持

- 勤務中の時間（子どもの帰宅前）に確認できる
- パートナーや祖父母など複数で確認できる
- 欠席連絡も時間を選ばず連絡できる

⇒保護者が生活リズムを崩さず、時間・場所を選ばず情報を得ることや、連絡が可能

④学校の負担軽減

- 学校の配付物等にかかる時間（印刷 仕分け 配布 回収）短縮。

⇒デジタル化推進により、十分な学級指導時間の確保や、働き方改革につながる

子ども・保護者・地域・学校・教育委員会の
一層の連携が期待される

欠席連絡

TAP !

- ・風邪
- ・欠席
- ・送信

タップのみで
必要事項を連絡

病院に
いきます

必要に応じて
メッセージ記載



担任教員への
通知・共有

一斉連絡・お便り



学級・部活動
単位での連絡



様々なファイル
添付



プッシュ型
通知

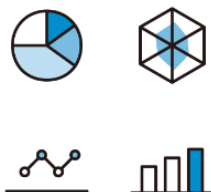


未読・既読の
確認と把握

アンケート・各種調査票



直接確認
確実に届く



自動集計と
グラフ作成表示



様々な場面での
活用

児童生徒・保護者・地域

・学校便り・不審者情報・奨学金の通知・市役所各課からのお知らせ等をリアルタイムに確認できる。

⇒ 「より地域とともにある学校」

・欠席連絡を学校始業前にできる。通話中や担任呼び出しなどの待ち時間もなくなる。

⇒ 「時間にゆとりを持って対応」

学校

- ・児童生徒・保護者・地域に確実に情報を届けられる。
- ・カラーで様子を伝えられる。
- ・印刷、配布、回収等にかかる時間や費用の縮減

⇒ 積極的な情報発信 勤務の効率化